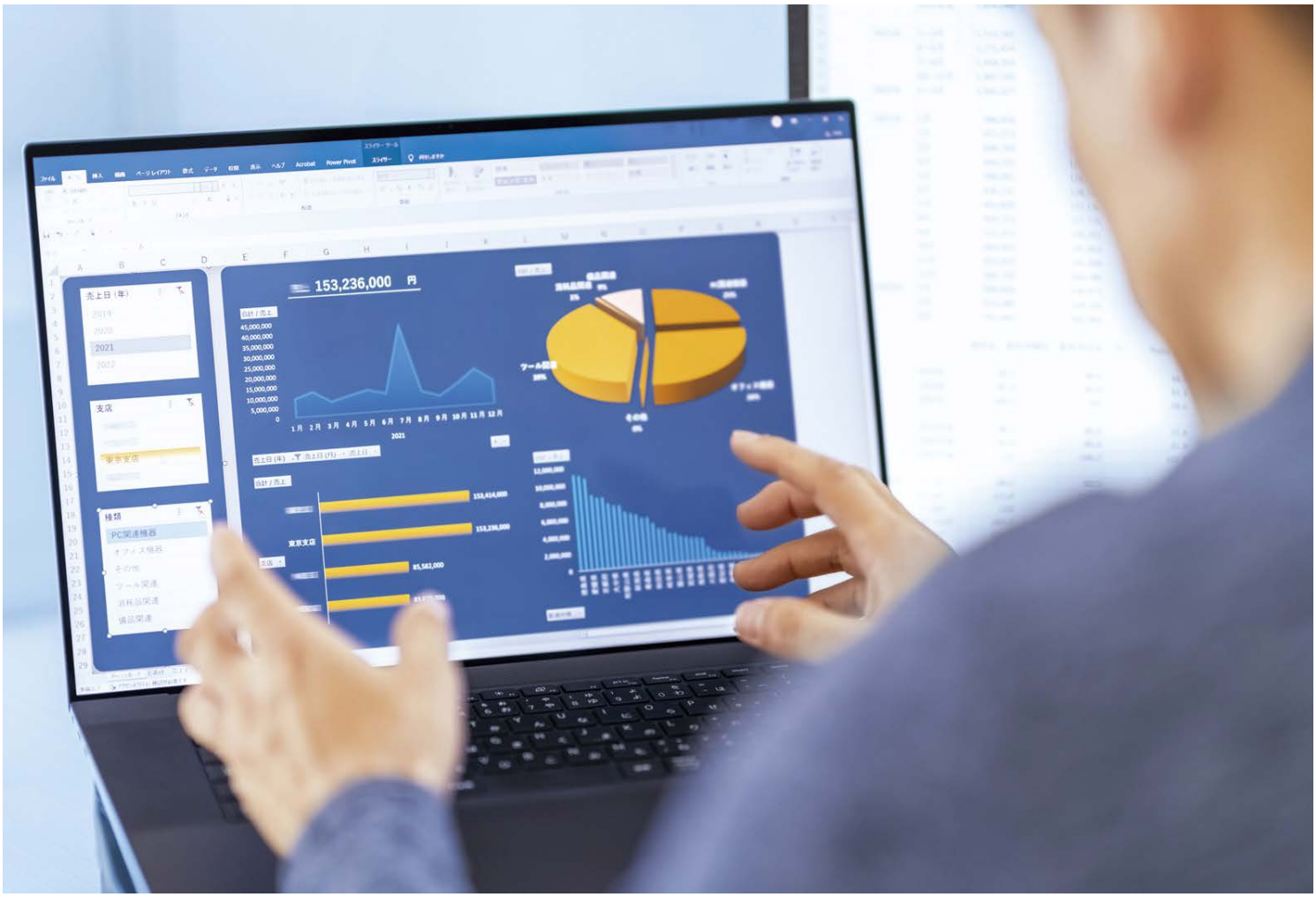
景況レポート

2024年
冬号

Contents

1. 第83回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査
2. 第194回特別調査
「2024年（令和6年）の経営見通し」
3. 企業紹介
斎藤金属工業株式会社



アイオー信用金庫
〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL：0270-30-5001

伊勢崎商工会議所
〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL：0270-24-2211

Ⅰ　全業種（回答364社･･･回答率98.9%）

業況判断D.I.は、足踏み状態、来期も慎重な見方が継続の予想

●今期（2023年10～12月期）の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△0.3と、前期との比較で0.3ポイント下回り、弱含み横ばいとなりました。

項目別の業況判断D.I.では、売上高は8.8（前期比+6.6）、資金繰りは△4.1（前期比△2.7）、採算△10.4（前期比△1.1）、従業員△0.3(前期比+2.7)と売上高は改善していますが、資金繰り・採算は小幅な悪化、従業員は小幅増加しています。

業種別の業況判断D.I.は、製造業・卸売業は悪化していますが、小売業、建設業・不動産業、サービス業は改善しています。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を14.5ポイント上回りました。業種別では、乖離幅は異なりますがすべての業種で全国調査を上回る結果となっています。

●来期（2024年1～3月期）の業況

来期の業況判断D.I.の見通しは△1.4と今期との比較でわずかながら1.1ポイントの悪化を予想しています。項目別業況判断D.I.見通しでは変動幅は小幅ですが、売上高は改善、資金繰り・採算は悪化、従業員は小幅増加する見込みとなっています。

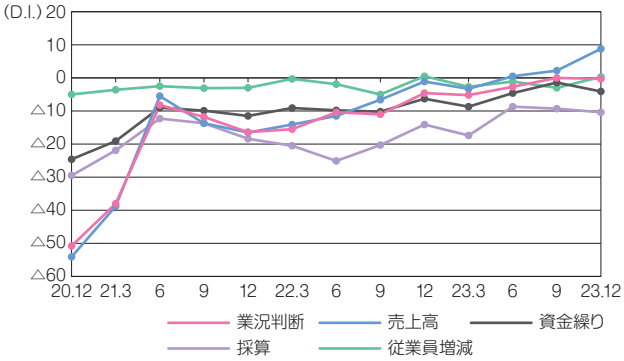
また、業種別の業況判断D.I.見通しでは、製造業はわずかながら1.0ポイント改善する見込みのほか、建設業・不動産業は6.3ポイントの増加、卸売業・小売業・サービス業は悪化する見込みです。

■業種別天気図

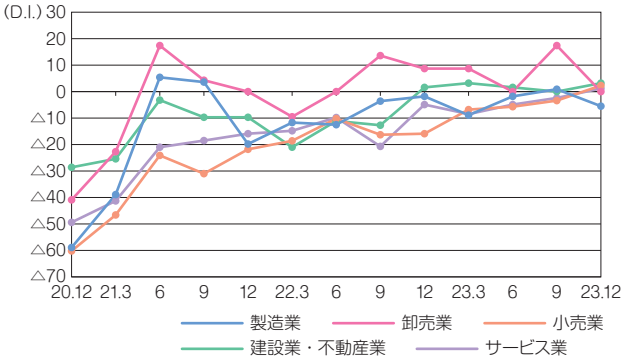
	前　期 2023年7～9月期	今　期 2023年10～12月期	来期予想 2024年1～3月期	全国調査 2023年10～12月期
全業種	0.0	△0.3	△1.4	△14.8
製造業	0.9	△5.5	△4.5	△15.1
卸売業	17.4	0.0	△4.3	△10.3
小売業	△3.4	2.3	△3.4	△26.4
建設業 不動産業	0.0	3.2	9.5	△12.9
サービス業	△2.4	1.2	△2.5	△7.2

快晴 100.0～35.0　晴れ 34.9～20.0　曇り一部晴れ 19.9～7.0　曇り 6.9～△7.0　本曇り △7.1～△20.0　小雨 △20.1～△35.0　雨 △35.1～△100

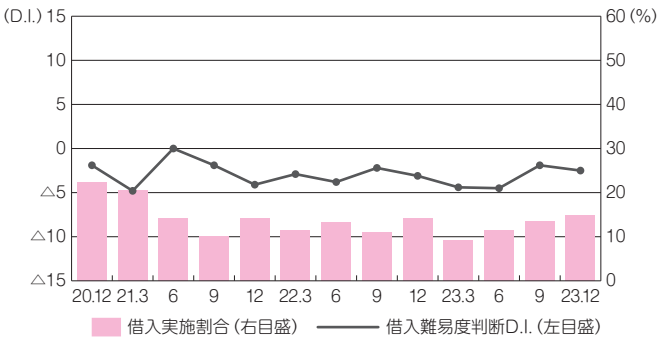
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ　製造業（回答110社･･･回答率98.2%）

■景況

今期の業況判断D.I.は△5.5と、前期との比較で6.4ポイント悪化しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で9.6ポイント上回りました。

業種別にみると、金属プレス・メッキ、輸送機械は改善していますが、金属製品、機械器具、プラスチックは悪化しています。

項目別には、売上高、資金繰り、設備操業率ともに改善していますが、採算は悪化しています。また、原材料仕入単価は小幅ながら上昇しています。

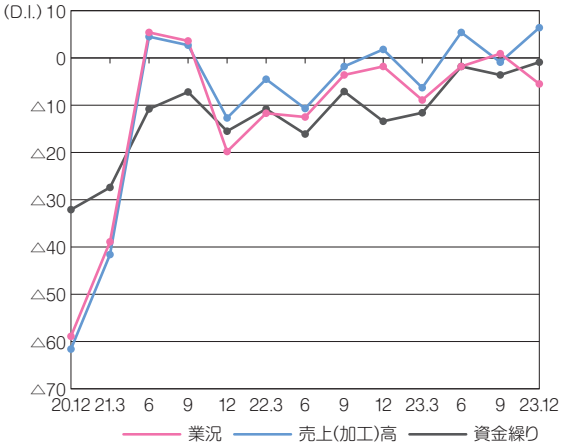
来期の業況判断D.I.は△4.5と改善を予想しています。項目別には、設備操業率は改善していますが、売上高・採算は横ばい、資金繰りは悪化しています。また、原材料仕入単価は大幅に低下の見込みです。

経営上の問題では、「原材料価格の上昇」が23.4%、「需要の停滞」14.5%、「従業員の確保難」9.7%となっています。

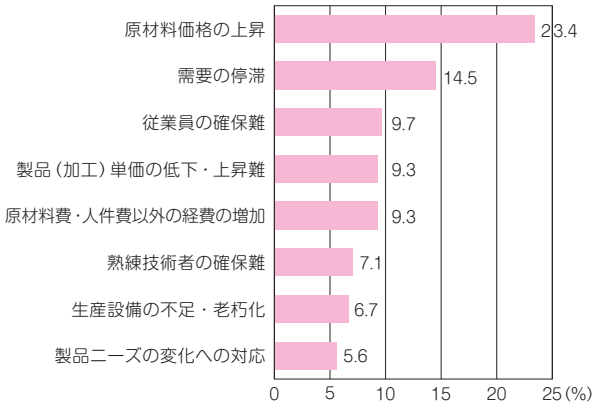
（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　　況	0.9	△ 5.5	△ 4.5	△ 15.1
売上（加工）高	△ 0.9	6.4	6.4	△ 5.3
資 金 繰 り	△ 3.6	△ 0.9	△ 1.8	△ 13.1
採　　算	△ 10.7	△ 16.4	△ 16.4	△ 20.7
原材料仕入単価	58.9	60.9	49.1	72.5
原 材 料 在 庫	△ 10.7	2.7	1.8	△ 3.1
従 業 員 増 減	△ 2.7	3.6	7.3	△ 3.2
設 備 操 業 率	△ 5.4	△ 4.5	0.0	△ 9.4

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点（複数回答）



■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、12.5と前期比22.5ポイントの大幅改善しています。来期は△12.5と25.0ポイントの大幅悪化の見込みです。

項目別では、原材料仕入単価が87.5と前期比2.5ポイント低下しましたが依然高止まりしています。売上高、資金繰り、設備操業率は改善しましたが、採算は悪化しています。また、原材料在庫は大幅に減少しています。

経営上の問題点は「需要の停滞」17.4%、「原材料価格の上昇」、「人件費の増加」がともに13.0%となっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、0.0と前期比13.3ポイントの大幅悪化となりました。来期は7.7と7.7ポイントの改善が見込まれています。

項目別では、売上高、資金繰り、採算ともに改善していますが、設備操業率は悪化しています。原材料仕入単価は30.8と前期比29.2ポイントの大幅低下しています。

経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」が16.7%、「生産設備の不足・老朽化」が13.9%、「需要の停滞」、「従業員の確保難」がともに11.1%となっています。

【金属製品】

業況判断D.I.は、△5.0と前期比9.3ポイントの悪化となりました。来期の業況判断D.I.は、△5.0と横ばいを見込んでいます。

項目別には、売上高、資金繰り、設備操業率は改善していますが採算は悪化しています。また、原材料仕入単価は70.0と22.2ポイント大幅に上昇しています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」が20.5%、「需要の停滞」18.2%、「従業員の確保難」が13.6%、「製品(加工)単価の低下・上昇難」が11.4%となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、△12.5と前期比14.8ポイントの大幅改善していますが、来期は△25.0と大幅な悪化が見込まれています。

項目別には、売上高・資金繰りは大幅改善、採算・設備操業率は小幅改善しています。また、原材料仕入単価は小幅上昇しています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」33.3%、「従業員の確保難」「人件費の増加」「需要の停滞」がともに12.8%となっています。

【印刷】

業況判断D.I.は、△37.5と横ばいとなり、来期の業況判断D.I.は△50.0と12.5ポイントの大幅悪化見込みです。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、0.0と前期比11.1ポイントの大幅な悪化となりました。来期の業況判断D.I.は12.5と改善する見込みです。

Ⅲ　卸売業（回答23社･･･回答率100%）

■景況

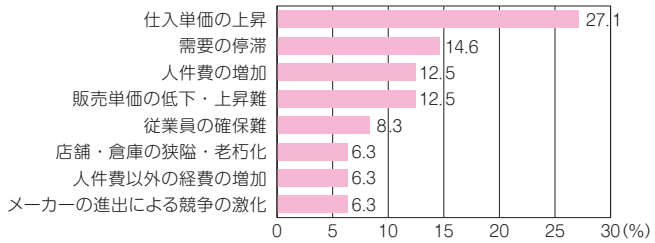
今期の業況判断D.I.は0.0と前期との比較では17.4ポイントの大幅悪化となりました。来期も△4.3と4.3ポイント悪化する見込みです。全国調査との比較では、業況判断D.I.で10.3ポイント上回りました。

項目別では、売上高、資金繰りは横ばいですが、採算は悪化しています。また、売上単価、仕入単価は上昇しています。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が27.1%、「需要の停滞」14.6%、「販売単価の低下・上昇難」「人件費の増加」がともに12.5%となっています。

業種別では食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は14.3と前期比14.3ポイント悪化しています。来期は△14.3.と28.6ポイントの大幅な悪化見込みとなっています。

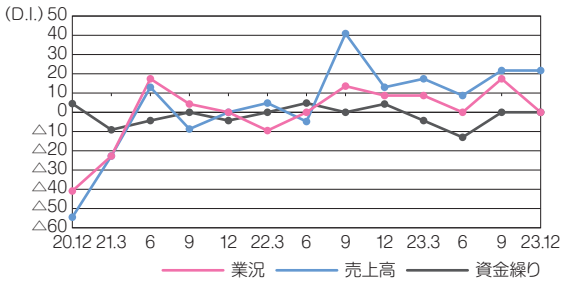
■経営上の問題点（複数回答）



（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　　況	17.4	0.0	△ 4.3	△ 10.3
売　上　高	21.7	21.7	△ 4.3	△ 0.2
資 金 繰 り	0.0	0.0	△ 4.3	△ 9.3
採　　算	8.7	△ 4.3	△ 8.7	△ 15.6
売 上 単 価	21.7	39.1	17.4	45.2
仕 入 単 価	47.8	52.2	26.1	73.5
在 庫 数 量	4.3	0.0	0.0	△ 4.2
従 業 員 増 減	△ 4.3	0.0	△ 4.3	△ 1.4

■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ　小売業（回答87社･･･回答率98.8%）

■景況

今期の業況判断D.I.は2.3と5.7ポイント改善しています。全国調査との比較では、業況判断D.I.で28.7ポイント上回っています。

項目別では売上高、採算は改善していますが、資金繰りは悪化しています。また、客単価は上昇、仕入単価はほぼ横ばいとなっています。

来期の業況判断D.I.は△3.4と5.7ポイントの悪化予想です。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が21.1%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」16.1%、「消費者ニーズの変化への対応」14.6%となっています。

■業種別の状況

【飲食料品小売業】【飲食店】

飲食料品小売業の業況判断D.I.は、3.6と前期比20.8ポイントの大幅改善していますが、来期は0.0と3.6ポイントの悪化を見込みます。

飲食店の業況判断D.I.は、25.0と前期比3.6ポイントの悪化で、来期も25.0と横ばいを見込みます。

飲食料品小売業の経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が27.4%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が12.9%、「消費者ニーズの変化への対応」が11.3%となっています。

【その他】

業況判断D.I.は、自動車販売、家電は悪化していますが、スポーツ・文具は改善、燃料、医薬品・化粧品は横ばいとなっています。

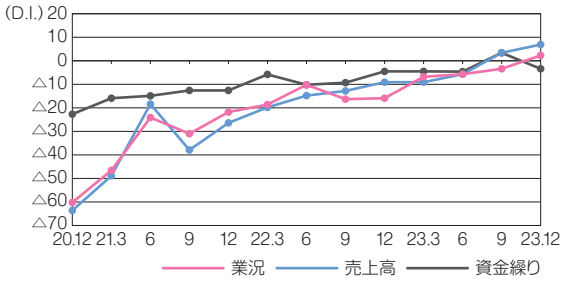
来期は、燃料は悪化しますが、その他の業種は横ばいの見込みです。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が依然として多いものの、「消費者ニーズの変化への対応」「大型店・中型店の進出による競争の激化」等従来からの課題も目立っています。

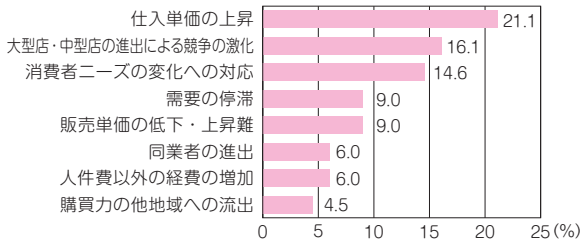
（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　　況	△ 3.4	2.3	△ 3.4	△ 26.4
売　上　高	3.4	6.9	△ 1.1	△ 13.9
資 金 繰 り	3.4	△ 3.4	△ 3.4	△ 21.2
採　　算	△ 12.5	△ 8.0	△ 11.5	△ 30.1
客　単　価	△ 3.4	8.0	5.7	△ 1.7
仕 入 単 価	42.0	42.5	43.7	66.9
在 庫 数 量	△ 3.4	0.0	0.0	△ 9.9
従 業 員 増 減	0.0	△ 3.4	0.0	△ 3.6

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点（複数回答）



Ⅴ　建設業・不動産業（回答63社･･･回答率100%）

■景況

今期の業況判断D.I.は3.2と、前期比3.2ポイント改善し、全国調査比では、16.1ポイント上回りました。

来期の業況判断D.I.は9.5と6.3ポイント改善する見込みです。

項目別では、売上高は改善していますが、資金繰り・採算・受注額ともに悪化しています。一方、材料単価は、わずかながら低下していますが、引続き高くなっています。

経営上の問題点は、「材料単価の上昇」が26.6%、「材料費・人件費以外の経費の増加」16.1%、「従業員の確保難」が10.5%となっています。

（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　況	0.0	3.2	9.5	△ 12.9
売　上　高	6.5	15.9	11.1	△ 15.1
資　金　繰　り	0.0	△ 7.9	1.6	△ 8.1
採　算	△ 3.2	△ 11.1	△ 7.9	△ 24.7
受　注　額	6.5	4.8	4.8	△ 11.9
材　料　単　価	50.8	47.6	42.9	74.6
従業員増減	△ 6.6	△ 4.8	0.0	△ 3.4

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、△3.0と前期比9.7ポイント悪化しました。来期は6.1と9.1ポイントの改善が見込まれています。

項目別には、売上、資金繰り、採算、受注額ともに悪化しています。一方、材料単価は48.5と11.5ポイント低下しているものの引続き高水準となっています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が35.1%、「材料費・人件費以外の経費の増加」18.2%、となっています。

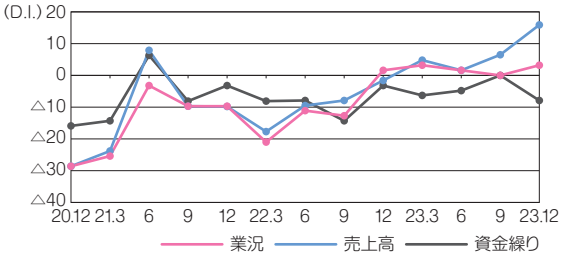
【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、0.0と前期比12.5ポイントの悪化となっていますが、来期は横ばいの見込みです。

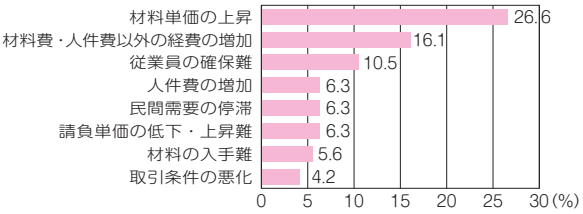
職別工事業の業況判断D.I.は、△12.5と前期27.5ポイントの大幅改善となり、来期も12.5と25.0ポイント改善の見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、26.7と前期比21.4ポイント改善していますが、来期は20.0と6.7ポイント悪化の見込みです。

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点（複数回答）



Ⅵ　サービス業（回答81社･･･回答率98.7%）

■景況

今期の業況判断D.I.は1.2と、前期比で3.6ポイント改善し、全国調査との比較では、業況判断D.I.で8.4ポイント上回りました。

項目別では、売上高、採算は改善していますが、資金繰りは悪化しています。また、客単価はわずかながら上昇、仕入単価は下落しています。

来期の業況判断D.I.は△2.5と3.7ポイントの悪化を予想しています。

経営上の問題点は「消費者ニーズの変化への対応」18.1%、「材料等仕入単価の上昇」14.4%、となっています。

（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　況	△ 2.4	1.2	△ 2.5	△ 7.2
売　上　高	△ 3.7	4.9	2.5	6.7
資　金　繰　り	△ 4.9	△ 7.4	△ 7.4	△ 9.2
採　算	△ 13.4	△ 6.2	△ 9.9	△ 19.2
客　単　価	△ 1.2	0.0	0.0	15.7
仕　入　単　価	41.5	34.6	35.8	70.9
従業員増減	△ 3.7	3.7	2.5	△ 4.1

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、16.7と前期比横ばいで、来期は5.6と11.1ポイントの悪化が見込まれています。

項目別では、売上高は改善していますが、資金繰り・採算ともに悪化しています。客単価は下落、仕入単価は横ばいとなっています。

経営上の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」26.8%、「消費者ニーズの変化への対応」17.1%、「人件費以外の経費の増加」12.2%となっています。

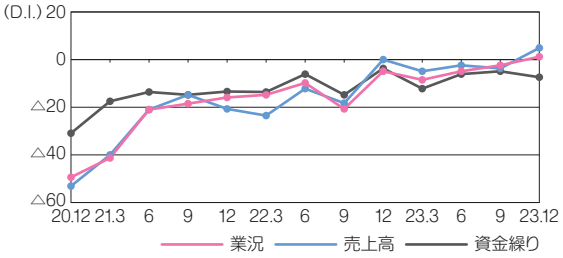
【洗濯・理容】

業況判断D.I.は、△71.4と前期比27.0ポイントの大幅な悪化をしています。来期も△71.4と横ばいの見込みです。

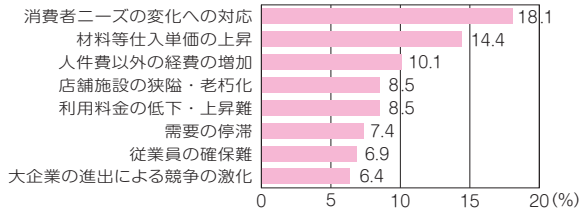
項目別では、売上高、採算ともに悪化していますが、資金繰りは改善、客単価・仕入単価ともに下落しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」26.3%、「新規参入業者の進出」「店舗施設の狭隘、老朽化」がともに15.8%、「利用料金の低下・上昇難」「需要の停滞」がともに10.5%となっています。

■主要業況判断D.I.の推移



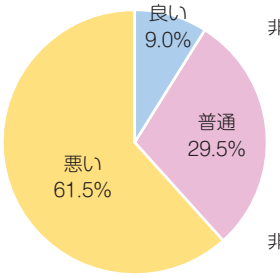
■経営上の問題点（複数回答）

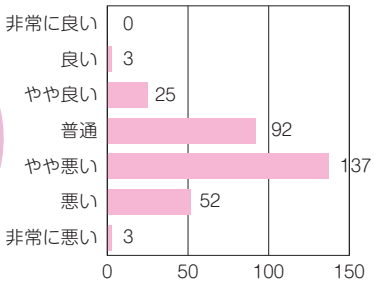


特別調査 【2024年（令和6年）の経営見通しについて】

1 日本の景気見通し

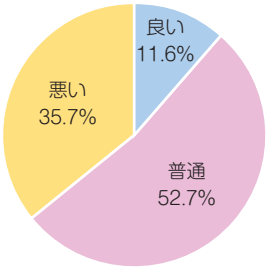
2024年の景気見通しについては、「良い」とする先は9.0%と昨年比で4.1ポイント増加し、「悪い」とする先は61.5%と大勢を占めますが、昨年と比較して8.7ポイント減少するなど、全体的には明るい見通しが増加しています。

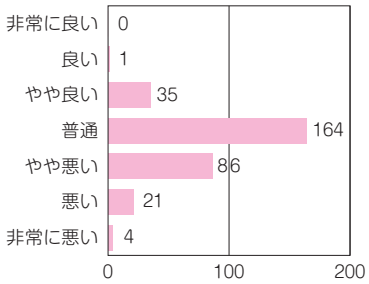




2 自社の業況（景気）見通し

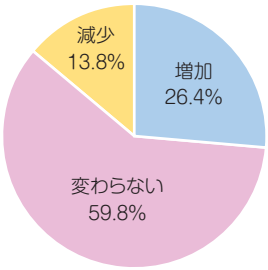
2024年の自社の業況については「悪い」とする先が35.7%と昨年比で7.7ポイント減少していますが、「良い」とする先は11.6%と昨年比2.5ポイントの増加にとどまっています。

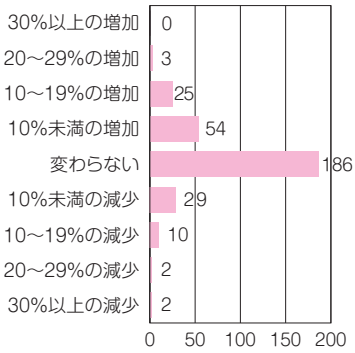




3 売上額の伸び率見通し（前年比）

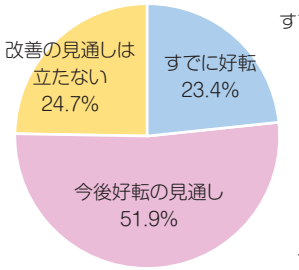
売上額の伸び率見通しについては、「増加予想」が26.4%と昨年比8.6ポイント上昇している一方、「減少」は13.8%と昨年比12.1ポイント下落しています。

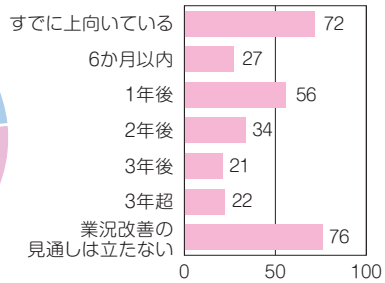




4 業況が上向く転換点見通し

業況が上向く転換点の見通しは、「すでに好転している」としている先が23.4%ある一方で、「改善の見通しは立たない」も24.7%あります。

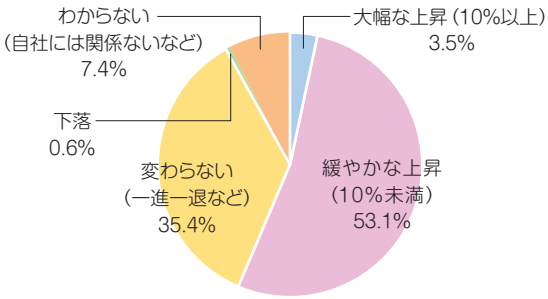




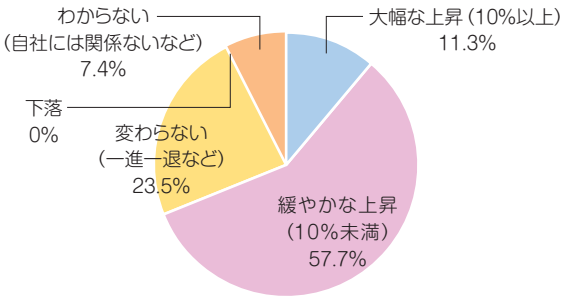
5 価格動向について

販売価格の動向については、「緩やかな上昇」が53.1%と過半数を占め、「変わらない」とする先が35.4%と続きます。一方、仕入価格についても「緩やかな上昇」が57.7%と過半数を占め、「変わらない」とする先が23.5%と続き、「大幅な上昇」は11.3%となりました。

■販売価格



■仕入価格



今回の調査について

【調査方法】

調査時期	2023年12月
調査内容	①今期の状況：前年の同時期（2022年10～12月期）と比較した今期（2023年10～12月期）の状況
	②来期の見通し：前年の同時期（2023年1～3月期）と比較した来期（2024年1～3月期）の状況
調査方法	アイオー信用金庫及び伊勢崎商工会議所の調査員による面談または聞き取り
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所

※毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

【調査対象企業数・回答企業数】

	調査対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	112	110	98.2%
卸売業	23	23	100%
小売業	88	87	98.8%
建設業・不動産業	63	63	100%
サービス業	82	81	98.7%
合計	368	364	98.9%

斎藤金属工業株式会社

会社概要

創　　立	昭和36年6月 1日
設　　立	昭和45年1月19日
代 表 者	代表取締役社長　斎藤 光世
所 在 地	伊勢崎市富塚町260-7
T E L	0270-32-6563
資 本 金	1,000万円
従業員数	7名
事業内容	金属板金加工、産業機器の設計・製造、防災用備蓄燃料の販売

【行動指針】

・お客様の依頼に基づき開発・設計・製造までをワンストップで提供します。

・お客様の「すぐ必要」の要望にスピーディーに対応します。

【変遷】

当社は1961年6月創業、小さな工場でプレス加工を営み60年あまりが経過いたしました。その間、独自開発商品に力を入れており、空き缶プレス機など環境・リサイクルに特化した機器を製造、遊技機台間用ドリンク販売機、書類用自販機などのアイデア商品や健康と疲労回復につながる小型酸素発生器・防災用照明スタンドを開発・販売してきましたが、現在は工作機械・産業機械部品・筐体（きょうたい）を製造しています。

特に、液温制御装置の筐体製造では、従来の方法から耐久性とコストダウンの面から化粧鋼板を利用・提案し、元請けからは信頼を得ています。

※筐体：機械を納める箱の意味

【経済的な固形燃料「DUAL HEAT（デュアルヒート）」】

アウトドアや災害時にも最適で安全で非危険物登録され、大量備蓄が可能で経済的な固形燃料「DUAL HEAT（デュアルヒート）」の五徳も製造しています。

【当社のこだわり】

当社の製品は耐久性に優れている化粧鋼板でできています。化粧鋼板は主に屋根材として利用されているもので、耐久性に優れています。従来の製品では鋼板から製品を作り、その後、塗装を施していましたが、化粧鋼板の利用により、耐久性とコスト削減がはかられました。

この化粧鋼板を利用して筐体（きょうたい）を製造している企業は市内では稀（まれ）です。

【多種少量製品に対応】

お客様の注文内容を相談の上、オーダーメイドで完成品をお渡しします。例えば、キーケース、下駄箱、フェンス、物置等お客様のニーズにお応えいたしますので、希望の向きはお問い合わせください。

お客様の信頼に努めて参ります。

中小企業経営者のみなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

●契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

●共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

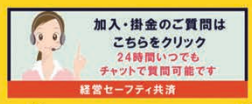
3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

24時間・365日お問い合わせ可能になりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のＱＲコード又はホームページからご確認ください。

小規模共済 検索



経営セーフティ共済 検索

Be a Great Small.
中小機構

5S Shinkin Bank

Sustainable　Solution　Strategy　Support　Smile

5Sを掲げ、地域貢献するしんきんを目指します。

Sustainable　持続可能な＝いつまでも常に地元のみなさまとともに
Solution　解決＝地元のみなさまの悩み、不安など課題を解決
Strategy　戦略＝緻密な戦略を持って
Support　応援＝地元のみなさまの夢を応援する
Smile　笑顔＝あたたかいハートの笑顔で

ケイエール

新現役マッチング交流会

新入社員研修会

DXフォーラム

5S Shinkin Bank

地元のソリューションをミライへ。
アイオー信用金庫